

歯科医療分野の ICT 化における将来像

宇佐美伸治*1

*1 日本歯科医師会常務理事

Future Prospects for ICT in the Dental Field

Shinji Usami*1

*1 Standing Director, Japan Dental Association

Japan Dental Association promotes medical DX (digital transformation) with benefits for the public, such as improved quality and efficiency of medical care, and cooperates in the introduction of online eligibility verification as a foundation for data health that will provide safe, secure, and high-quality medical care.

Keywords: online qualification confirmation, Medical information sharing, ICT in the medical area

オンライン資格確認システムの導入申し込みがスタートしてから約2年が経過した。

新型コロナウイルス感染症の渦中、改めて日本の医療福祉のDX化(デジタルトランスフォーメーション)の遅れが指摘され、『オンライン資格確認』は必要不可欠な基盤とされた。

しかしながら対象医療機関の中には、まだまだ導入に不安を抱える先生方も多いようだ。

あらためてご理解をいただくためにも、このシステムの意義、今後のデータヘルス改革に見える将来像等に触れていきたい。

現在国は、データヘルス集中改革プラン「アクション1」として、オンライン資格確認システムを活用した医療情報を患者や全国の医療機関で確認できる仕組みの構築を進めている。(図1)

これはレセプト情報をベースとした医療情報連携を指し、現在は、特定健診情報と薬剤情報の閲覧に留まっているが、今後、閲覧情報については順次追加する予定となっている。

国は、全国どこでも安心して自身の保健医療情報が医師、歯科医師などに安全に共有されることにより、通常時のみならず、救急や災害時であっても、より適切で迅速な診断や検査、治療を受けることを可能にすることを目指している。

さらに、ただいまご紹介した、請求されたレセプト情報をベースとした医療情報連携と併せ、医療機関の電子カルテ情報をベースとした全国的な情報連携ネットワークも構想しており、いずれもオンライン資格確認システムで構築されたネットワーク(インフラ)の活用が前提とされている。

なお、この2つのネットワーク構想は、令和4年6月に閣議決定された『経済財政運営と改革の基本方針2022』について『いわゆる「骨太の方針」(図2)において、▼全国医療情報プラットフォームの創設、▼電子カルテ情報の標準化などとして示されており、行政と関係業界が一丸となり、医療情報の利活用に向けて必要な法整備も含め大きな枠組みの構築が掲げられている。

具体的には、『全国医療情報プラットフォーム』とは、オンライン資格確認システムのネットワークを拡充し、レセプト・特定健診情報に加え、予防接種、電子処方箋情報、自治体検診情報、電子カルテ等の医療(介護を含む)全般にわたる情報について、共有・交換できるプラットフォームを指している。

患者本人がマイナポータル等を通じて自身の保健医療情報を把握できる仕組みの構築を前提に、患者本人が閲覧できる情報は、医療機関や介護事業者でも閲覧可能とする仕

組みの整備を目指し、歯科診療所もその範疇にある。歯科診療所は、患者の過去の医療等情報を適切に確認し、これまで以上に患者のニーズを踏まえた質の高い医療サービス提供が可能となる。(図3)

『電子カルテ情報の標準化』は、医療機関間における情報共有を可能にするため、全国的に電子カルテ情報を医療機関等で閲覧可能とする仕組みの実装であり、オンライン資格確認等システムの基盤を活用することや医療機関間でやり取りする情報の整理等について、まずは医科を中心にその構築に向けた検討が進められている。

日本歯科医師会は、これからの議論に向けて本会内に検討会を設置し、電子カルテの標準化に資する医科歯科医療機関連携、歯科医療機関間連携において共有が必要な医療情報項目の検討を始めている。

なお、歯科の特性を踏まえた議論の必要性について国に要望しており、国も「医療DX」の観点から医療機関やベンダの負担軽減に向けた「共通算定モジュール」等の導入も検討している。

国は令和5年4月から保険医療機関・薬局におけるオンライン資格確認システム導入について「原則義務化」することを決め、同時に、事務次官をトップとした「オンライン資格確認普及PT」を設置、マイナンバーカードの保険証利用と併せ、普及推進を加速化している。

オンライン資格確認を今後のデータヘルス改革の基盤として、電子処方箋、医科歯科薬局間での緻密な情報共有、電子カルテ、PHRなどの展開も想定している。

日本歯科医師会は、国民にとって安心・安全な質の高い医療の提供や効率化といったメリットのある医療DXを推進しており、オンライン資格確認のインフラが国の医療分野のICT化の基盤となることから、システムの安定化と臨床現場に寄り添った使い勝手の良いシステムになるよう、国による最大限の支援と配慮を繰り返し要望していく。

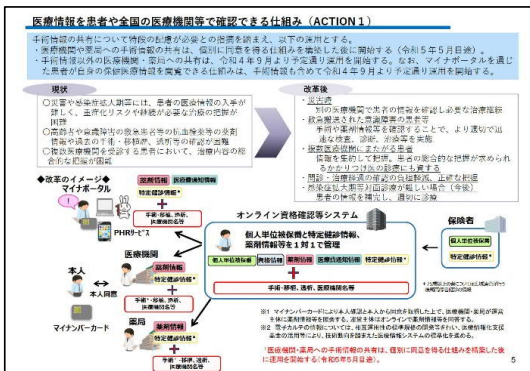


図1 第9回健康・医療・介護情報利活用検討会資料抜粋

データヘルス改革に関する工程表の通りPHRの推進等改革を着実に実行する。オンライン資格確認については、保険医療機関・薬局に、2023年4月から導入を原則として義務付けるとともに、導入が進み、患者によるマイナンバーカードの保険証利用が進むよう、関連する支援等の措置を見直し¹⁴⁾。2024年度中を目途に保険者による保険証発行の選択制の導入を目指し、さらにオンライン資格確認の導入状況等を踏まえ、保険証の原則廃止¹⁵⁾を目指す。「全国医療情報プラットフォーム¹⁶⁾の創設」、「電子カルテ情報の標準化等¹⁴⁾」及び「診療報酬改定D×」¹⁶⁾の取組を行政と関係業界¹⁷⁾が一丸となって進めるとともに、医療情報の利活用について法制上の措置等を講ずる。そのため、政府に総理を本部長とし関係関係により構成される「医療DX推進本部(仮称)」を設置する。

全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の集積と国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)の具体的な検討、オーラルフレイル対策・疾病の重症化予防につながる歯科専門職による口腔健康管理の充実、歯科医療職間・医科歯科連携を始めとする関係職種間・関係機関間の連携、歯科衛生士・歯科技工士の人材確保、歯科技工を含む歯科領域におけるICTの活用を推進し、歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組む。また、市場価格に左右されない歯科用材料の導入を推進する。

図2 骨太の方針(出典:経済財政運営と改革の基本方針2022 抜粋)

医療の提供態様等に関する取り組みの整備	医療・介護分野での情報活用の促進	AI・AI医療の推進	基盤の整備
<ul style="list-style-type: none"> 公費や社会保険人負担は、患者の経済的負担の軽減を図る。 医療機関や患者への負担軽減の共有は、個別に同意を得る仕組みを構築した後に開始する(令和5年5月目標)。 半信託等以外の医療機関・窓口への共有は、全国一律より優先し導入を奨励する。なお、マイナンバーを基とした患者が自身の医療履歴情報を閲覧できる仕組みは、半信託も合わせて令和4年9月より予定通り運用を開始する。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン資格確認システム 個人単位情報と特定種別情報、届出情報等を1対1で照合 個人単位情報 特定種別情報 特定種別情報 手続・手続、通知、資格情報等 	<ul style="list-style-type: none"> 「全国医療情報プラットフォーム」の創設 「電子カルテ情報の標準化等」及び「診療報酬改定D×」の取組を行政と関係業界が一丸となって進めるとともに、医療情報の利活用について法制上の措置等を講ずる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基盤の整備 標準化の推進 セキュリティの確保 人材確保 ICTの活用
<ul style="list-style-type: none"> 医療機関間の連携 医科歯科連携 歯科衛生士・歯科技工士の確保 歯科保健医療提供体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン資格確認システム 個人単位情報と特定種別情報 個人単位情報 特定種別情報 手続・手続、通知、資格情報等 	<ul style="list-style-type: none"> 「全国医療情報プラットフォーム」の創設 「電子カルテ情報の標準化等」及び「診療報酬改定D×」の取組を行政と関係業界が一丸となって進めるとともに、医療情報の利活用について法制上の措置等を講ずる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基盤の整備 標準化の推進 セキュリティの確保 人材確保 ICTの活用

図3 データヘルス改革に関する工程表 (出典:厚労省第8回データヘルス改革推進本部資料より抜粋し作成)